

エレミヤ書 18章
聖徒伝 239

御怒りからの 唯一の救い主

エレミヤ書 18章 陶器師なる神の警告

アウトライン

0. イントロダクション

- I. 陶器師なる神の御告げ 18:1~11
- II. イスラエルの民の返答 18:12~18
- III. エレミヤの嘆願 18:19~23

III. まとめと適用

御怒りからの救い主

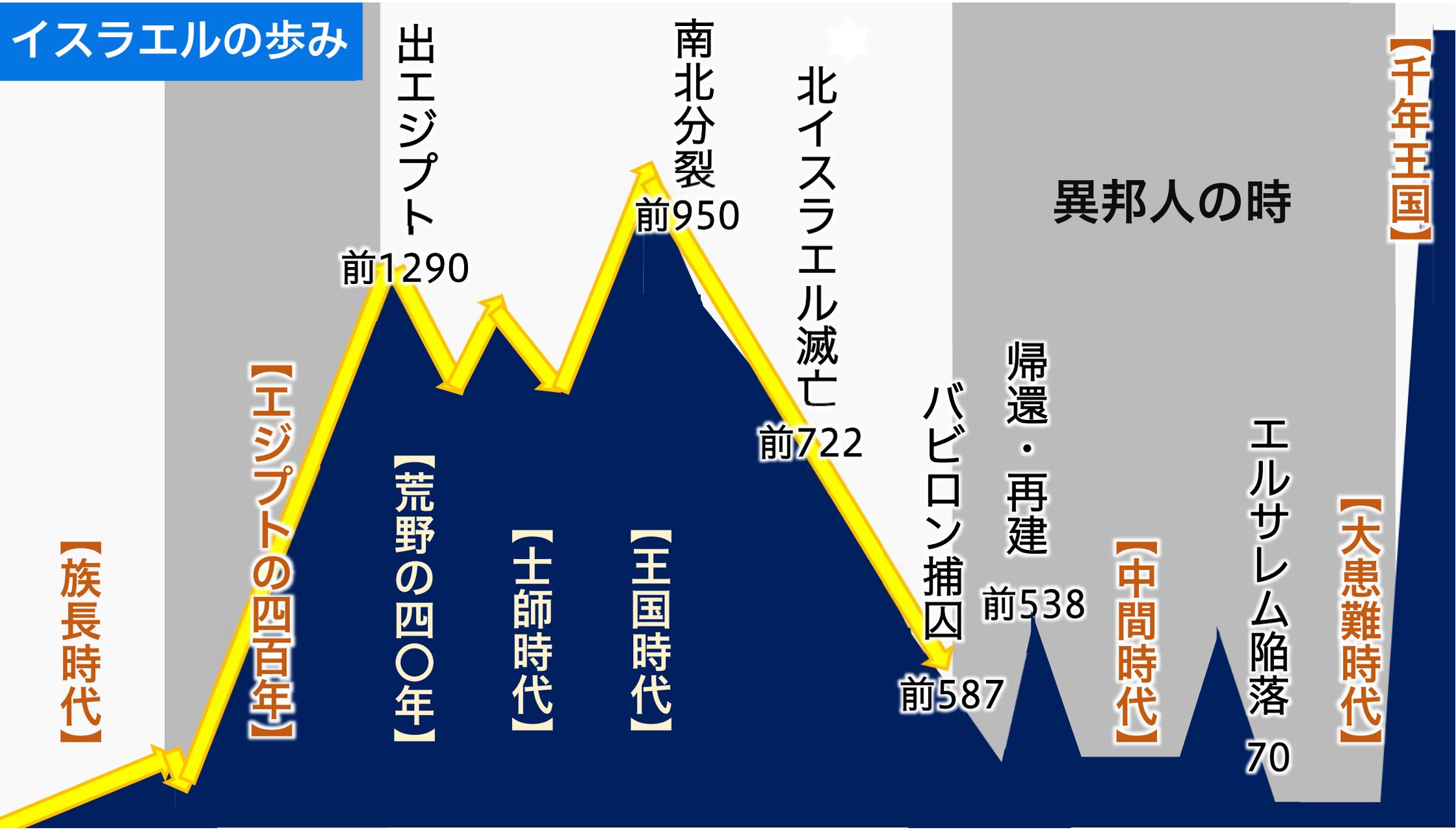
主イエスにすべてを託そう





0. イントロダクション

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

出エジプト
前1290

南北分裂
前950

北イスラエル滅亡
前722

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

【中間時代】

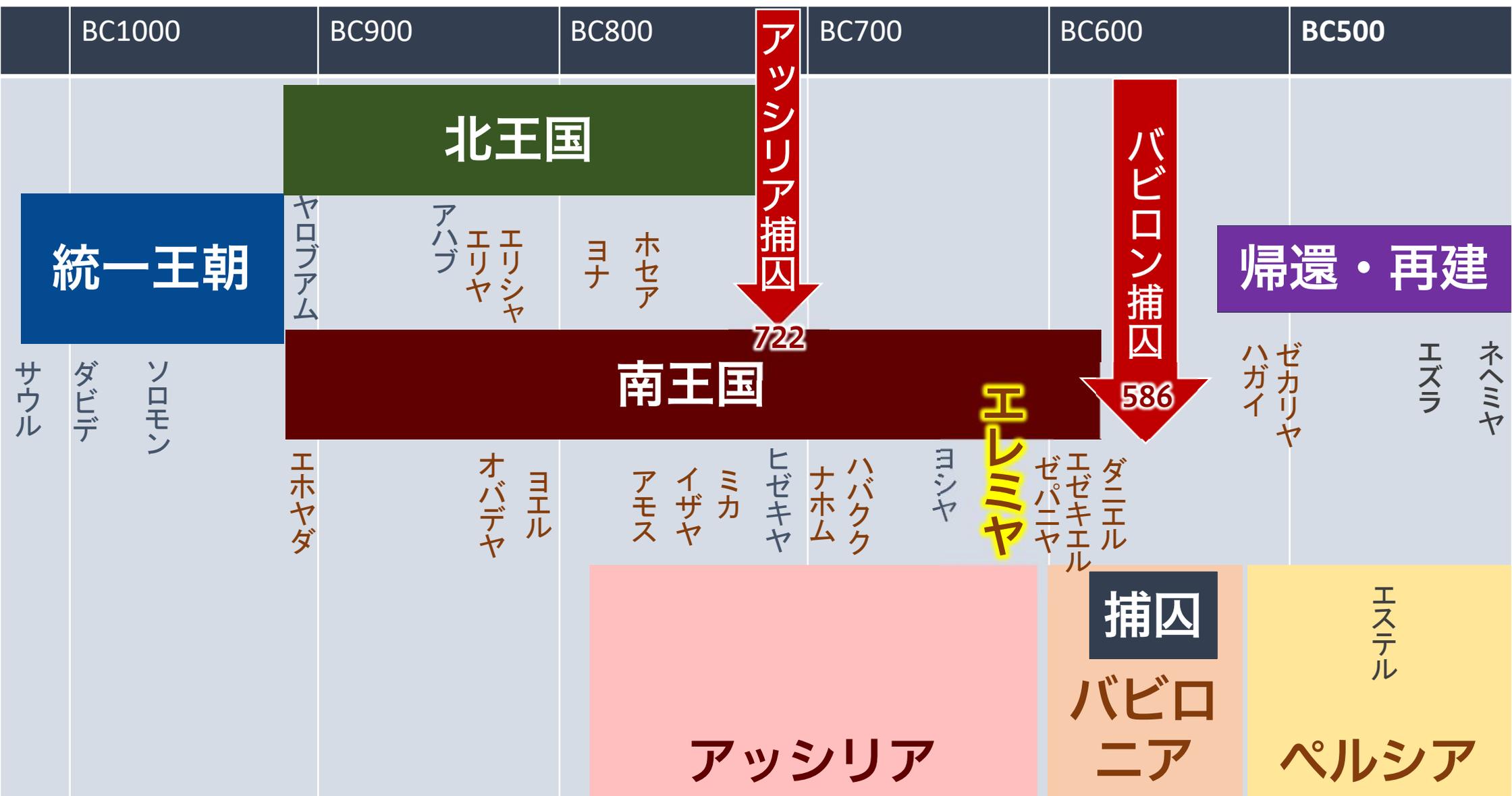
エルサレム陥落
70

異邦人の時

【大患難時代】

【千年王国】

イスラエル王国史



エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

北王国
イスラエル

南王国
ユダ

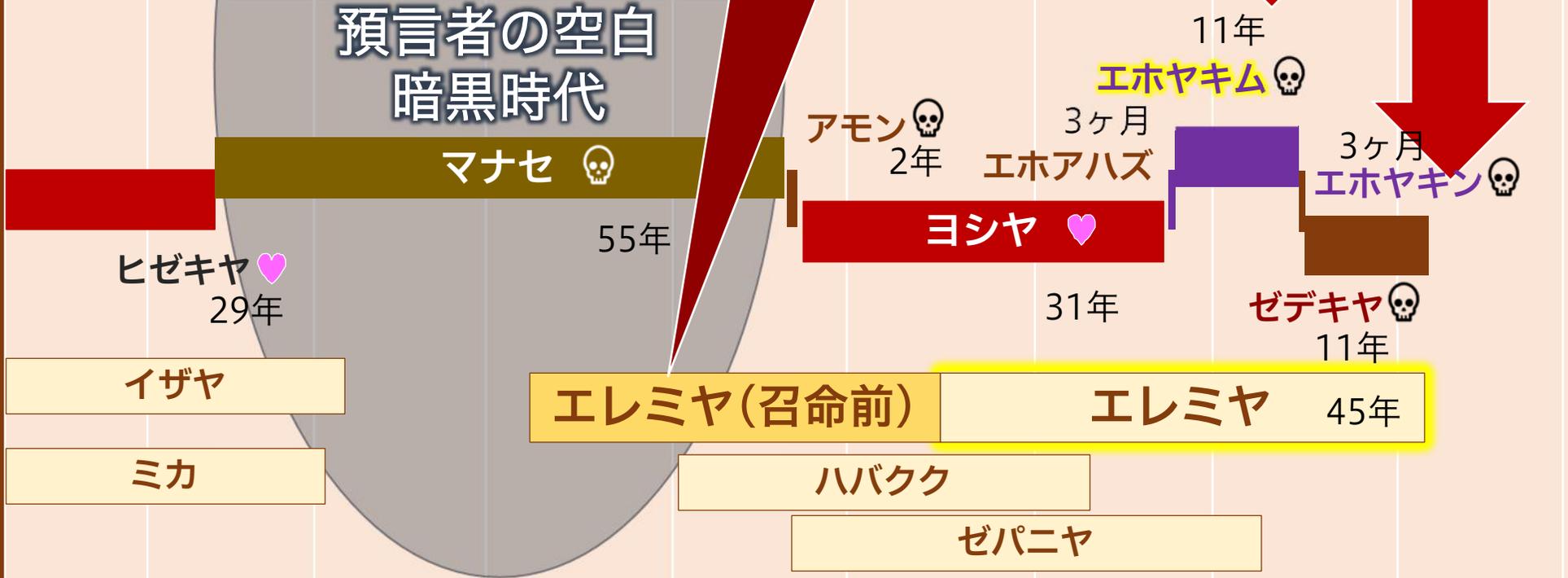
アッシリア捕囚
BC722年

バビロニアの侵略

バビロン捕囚

暗黒時代に
青年期を過ごした

預言者の空白
暗黒時代



マナセ王の罪 あらゆる形の偶像礼拝

■ Ⅱ列王記21:2~6

彼は、主がイスラエルの子らの前から追い払われた異邦の民の忌み嫌うべき慣わしをまねて、主の目に悪であることを行った。

彼は父ヒゼキヤが打ち壊した高き所を築き直し、イスラエルの王アハブがしたように、バアルのためにいくつもの祭壇を築き、アシェラ像を造り、天の万象を拝んでこれに仕えた。

こうして彼は、主がかつて「エルサレムにわたしの名を置く」と言われた主の宮に、いくつもの祭壇を築いた。

主の宮の二つの庭には、天の万象のために祭壇を築いた。

また、自分の子どもに火の中を通らせ、ト占をし、まじないをし、霊媒や口寄せをし、主の目に悪であることを行って、いつも主の怒りを引き起こしていた。

マナセ王が犯した罪

- ❶ バアルや、天の万象、偶像の神々を拝み、仕えた。
- ❷ エルサレムの神殿にすら偶像の祭壇を築き、汚した。
- ❸ 子どもを生け贄にし、霊媒や占いを行った。
- ❹ 聖絶された異邦の民以上の悪をイスラエルに行わせた。
- ❺ 咎のない者の血まで大量に流した。

マナセの罪によってイスラエルへの裁きは確定!!

もはや覆らない マナセ王の罪の結果

■ エレミヤ書15:3~4

わたしは四種類のもので彼らを罰する——【主】のことば——。切り殺すための剣、引きずるための犬、食い尽くして滅ぼすための空の鳥と地の獣である。

わたしは彼らを、地のすべての王国にとって、おのきのもとにする。ユダの王ヒゼキヤの子**マナセ**がエルサレムで行ったことのためである。

マナセの暗黒時代に生まれたエレミヤ

■ 祭司ヒルキヤの子エレミヤの召命は、30歳以降。

召命は、ヨシヤ王の13年目(マナセ死去の15年後)

「わたしは、あなたを胎内に形造る前からあなたを知り、あなたが母の胎を出る前からあなたを聖別し、国々への預言者と定めていた。エレミヤ1:4~5」

■ エレミヤは、出生から青年期まで、暗黒時代を生きた。

父、祭司ヒルキヤは、苦難と迫害を経験しただろう。

若きエレミヤに 主が託された最も厳しい宣告

■ためらうエレミヤへの主の御告げ エレミヤ1:7~10

「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすすべてのところへ行き、わたしがあなたに命じるすべてのことを語れ。彼らの顔を恐れるな。わたしがあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。—【主】のことば。」

「見よ、わたしは、わたしのことばをあなたの口に与えた。見なさい。わたしは今日、あなたを諸国の民と王国の上に任命する。引き抜き、引き倒し、滅ぼし、壊し、建て、また植えるために。」

エレミヤが遣わされた南王国ユダの現状

■ マナセ王の回心 覆らない裁き II 歴33:12~13

「しかし、彼は苦しみの中で彼の神、【主】に嘆願し、父祖の神の前に大いにへりくだり、神に祈ったので、神は彼の願いを聞き入れ、その切なる求めを聞いて、彼をエルサレムの彼の王国に戻された。こうしてマナセは、【主】こそ神であることを知った。」

■ マナセ王は悔い改めたが、イスラエルの裁きは覆らない。イスラエルに残されたのは、個々人の悔い改めの道のみ。



I. 陶器師なる神の御告げ

エレミヤ書18章1～11節

エルサレム近郊の丘

御告げ 陶器師 エレミヤ18:1~2

【主】からエレミヤに、このようなことばがあった。

「立って、**陶器師**の家に下れ。そこで、あなたにわたしのことばを聞かせる。」

私が**陶器師**の家に下って行くと、見よ、彼はろくろで仕事をしているところだった。

陶器師が粘土で制作中の器は、彼の手で壊されたが、それは再び、**陶器師**自身の気に入るほかの器に作り替えられた。



御告げ **イスラエルの運命** エレ18:5~6

それから、私に次のような【主】のことばがあった。

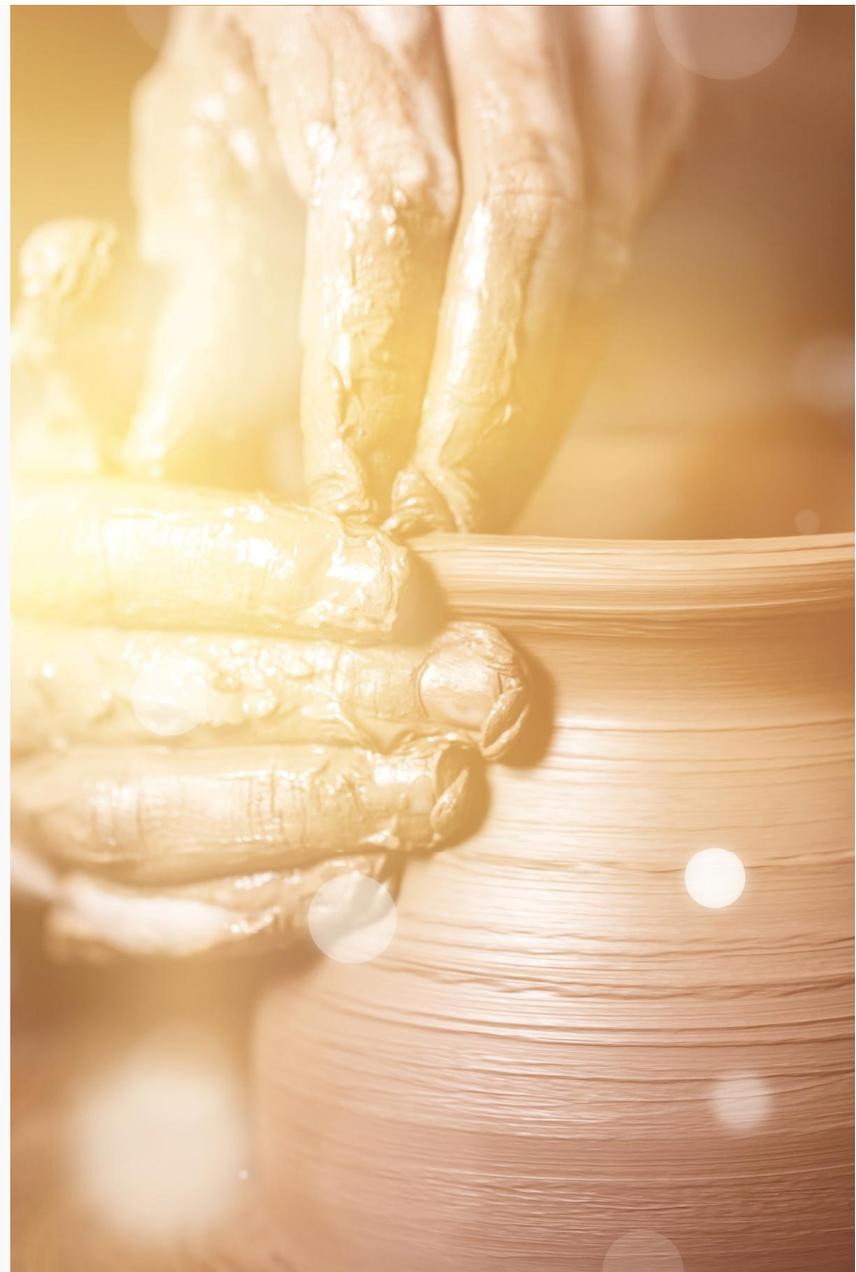
「イスラエルの家よ、わたしがこの**陶器師**のように、あなたがたにすることはできないだろうか—【主】のことば—。見よ。粘土が**陶器師**の手の中にあるように、イスラエルの家よ、あなたがたはわたしの手の中にある。」



御告げ 立ち返るなら エレ18:7~8

わたしが、一つの国、一つの王国について、引き抜き、打ち倒し、滅ぼすと言ったそのとき、もし、わたしがわざわざを予告したその民が立ち返るなら、わたしは下そうと思っていたわざわざを思い直す。

- イスラエルへの裁きは確定していたが、個々人には悔い改めの余地があった。
- 主が語られる裁きと赦しの原則
 - ① 悔い改めれば赦される。



御告げ 悪を行うなら エレ18:9~10

わたしが、一つの国、一つの王国について、
建て直し、植えると言ったそのとき、

もし、それがわたしの声に聞き従わず、わ
たしの目に悪であることを行うなら、わた
しはそれに与えると言った幸せを思い直す。

■ 主が語られる裁きと赦しの原則

② 主に聞き従わなければ裁かれる



御告げ

主の託宣 エレミヤ18:11

さあ今、ユダの人とエルサレムの住民に言え。『【主】はこう言われる。見よ。わたしはあなたがたに対してわざわいを考え出し、策をめぐらしている。さあ、それぞれ悪の道から立ち返り、あなたがたの生き方と行いを改めよ。』

- 南王国ユダへの裁きが迫る中、エレミヤは、悔い改めを促すために、主に遣わされて行く。





II. イスラエルの民の返答

エレミヤ書18章12～18節

エルサレム近郊の丘

返答 民の拒絶 エレミヤ18:12~13

しかし、彼らは言う。『いや。私たちは自分の計画にしたがって歩み、それぞれ、頑なで悪い心のままに行います*。』」

*ここまで口に出さなかったとしても
人々の心の底まで、主はお見通し。

■ 神の計画に従うのか？

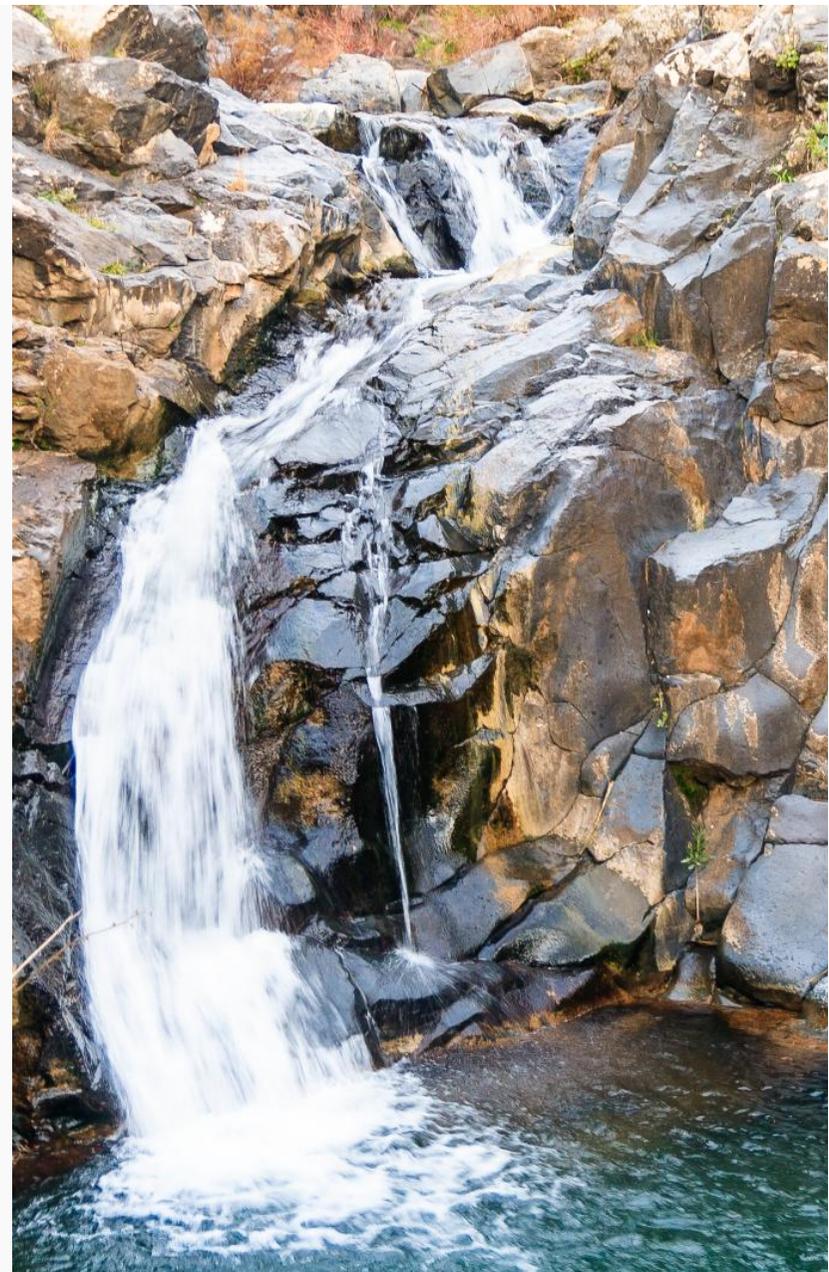
自分の計画に執着する → 罪



宣告 イスラエルの罪 エレミヤ18:13

それゆえ、【主】はこう言われる。「さあ、国々の中で尋ねてみよ。だれか、こんなことを聞いたことがあるだろうか。おとめイスラエルは、実におぞましいことを行った。レバノンの雪は、野の岩から消え去るだろうか。ほかの国から流れて来る冷たい水は、涸れることがあるだろうか。」

- 絶えることなくイスラエルを潤す山地からの湧水のように、主は、イスラエルを潤されてきたが…。



警告 空しいもの エレミヤ18:15~16

それなのに、わたしの民はわたしを忘れ、空しいもの*に犠牲を供える。それら*は、わたしの民をその道、いにしえの道でつまずかせ、小道に、まだ整えられていない道に行かせ、彼らの地を恐怖のもととし、永久に嘲りの的とする*。そこを通り過ぎる者はみな、呆気にとられて頭を振る。

*偶像。偶像礼拝がイスラエルの最悪の罪。

■偶像礼拝が、永遠の滅び*をもたらす。

神の民イスラエルも例外ではない。



警告 東風のように エレミヤ18:17

東風*のように、わたしは彼らを敵の前で散らす。彼らの災難の日に、わたしは彼らに背を向け、顔を向けない*。」

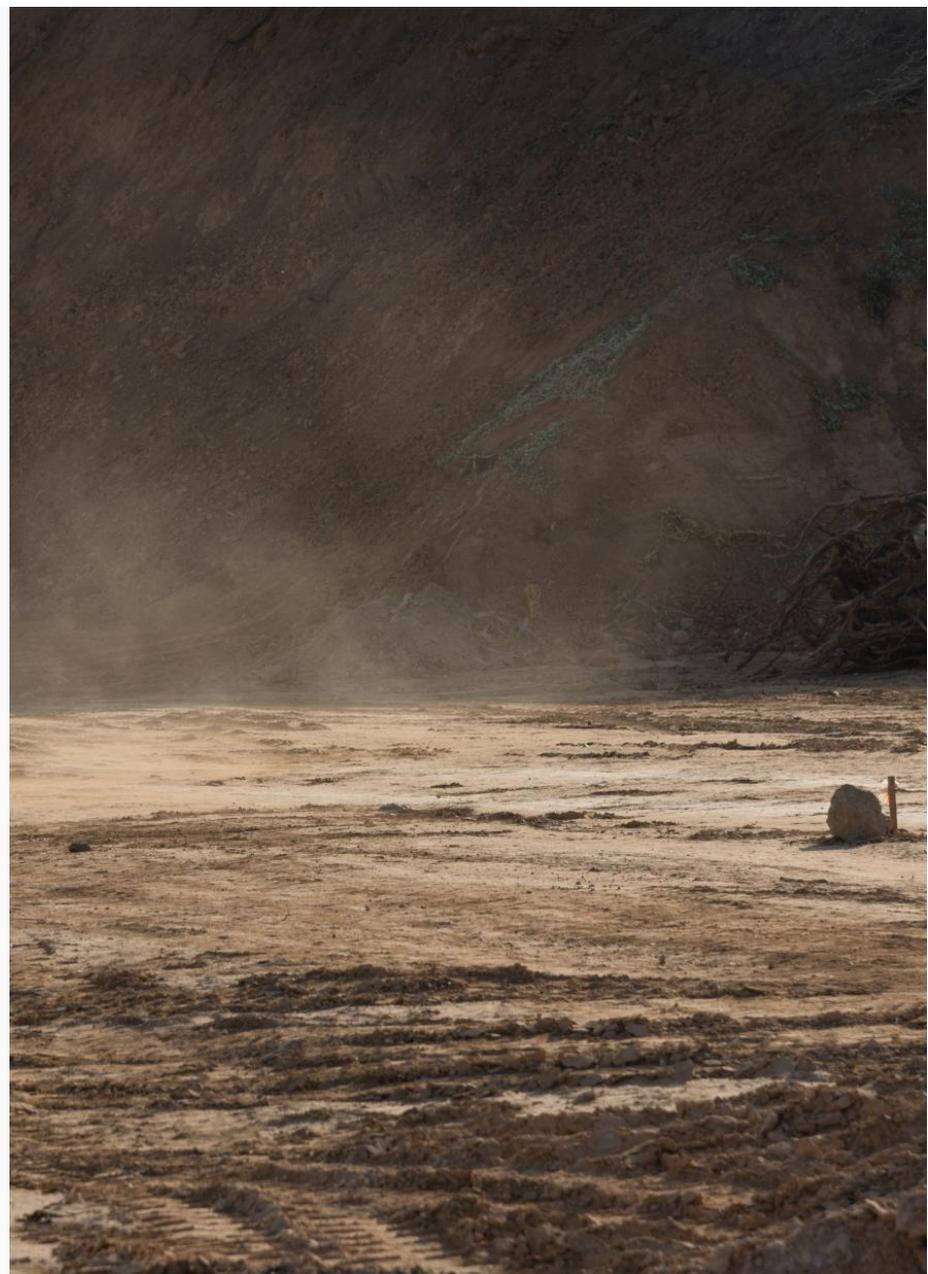
*乾期に砂漠から吹く熱風。

草木もたちまち枯らしてしまう。

*主が御顔をそらす

…主の栄光がエルサレムを離れ去る

➡イスラエルにとって最悪のこと



警告

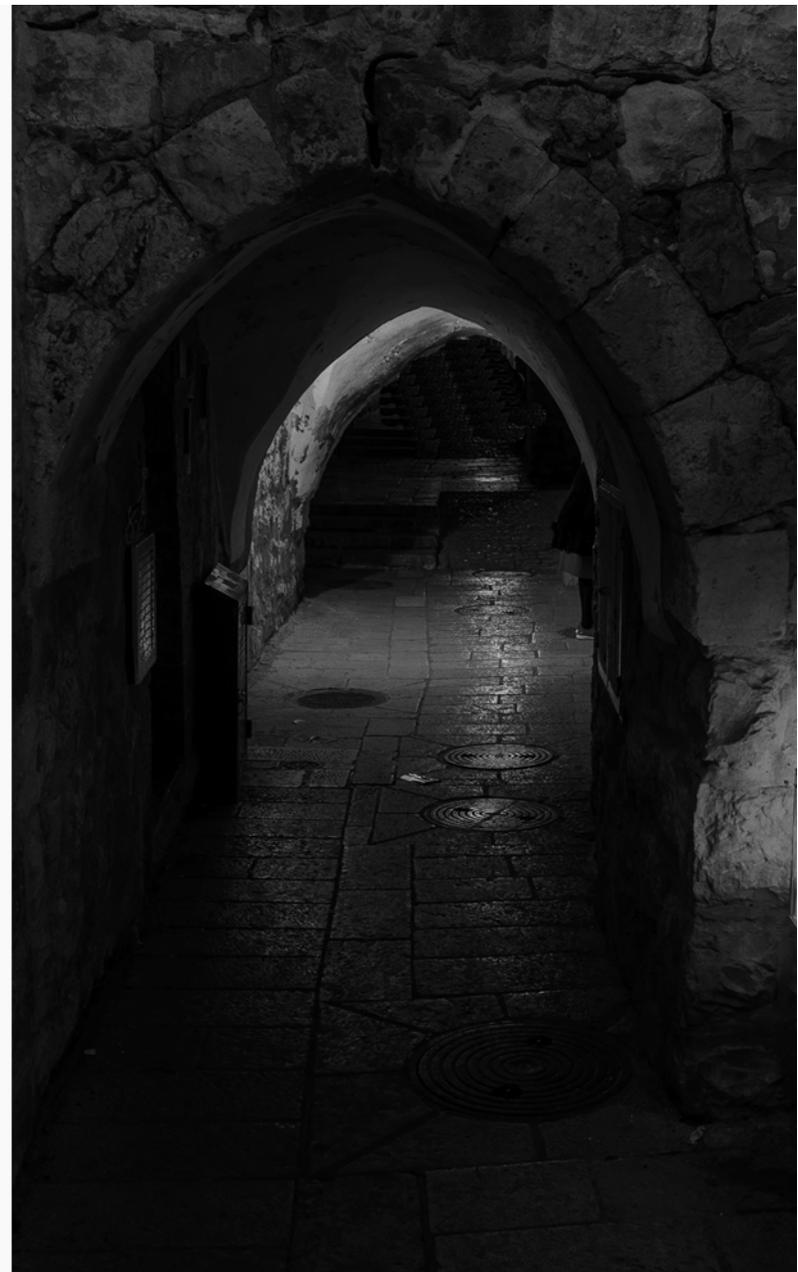
策謀 エレミヤ18:18

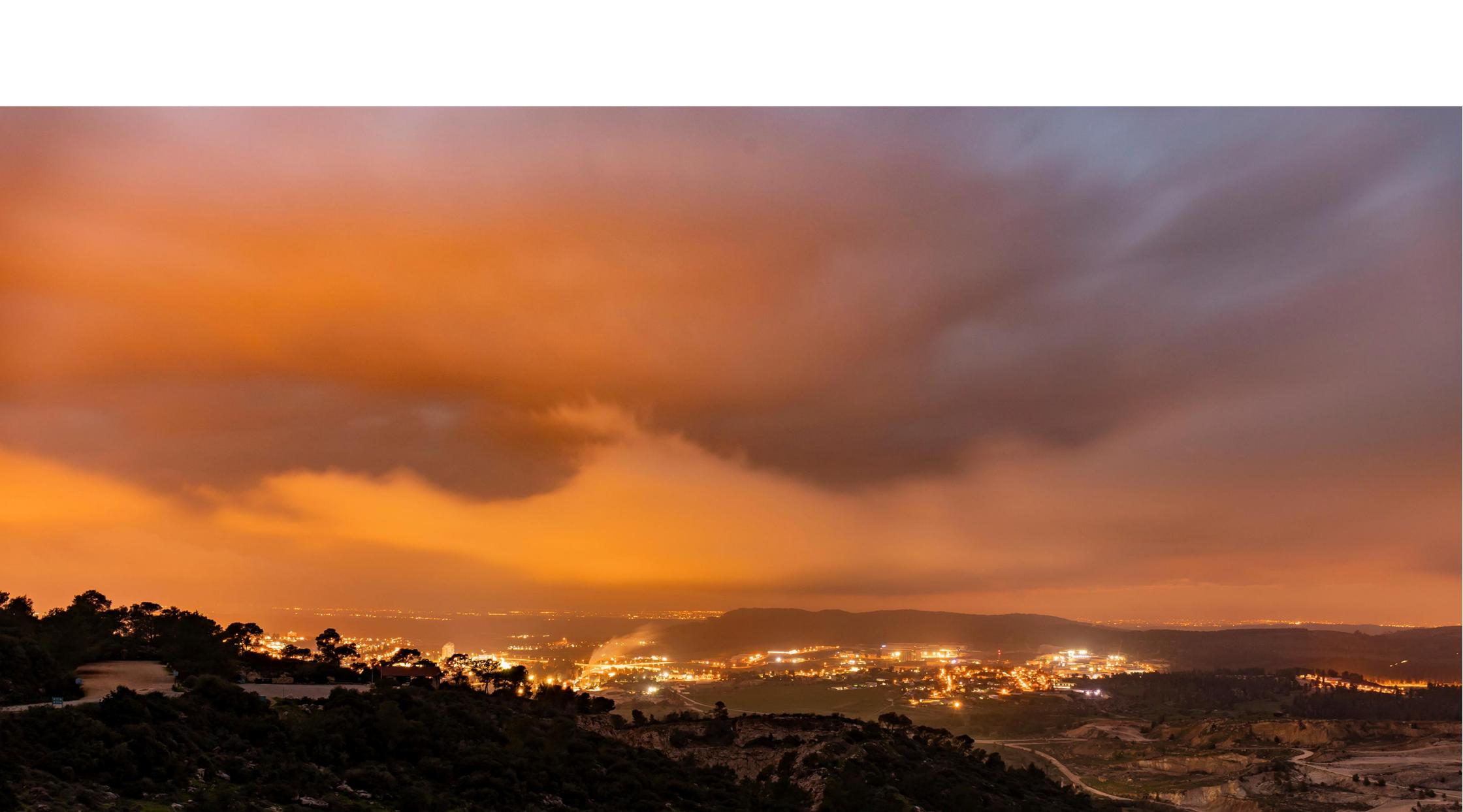
彼らは言った。「さあ、私たちは策をめぐらしてエレミヤを倒そう*。祭司から律法が、知恵のある者から助言が、預言者からことばが滅び失せることはないはずだから*。さあ、舌で彼を打ち、彼のすべてのことばに耳を傾けることがないようにしよう。」

*“行かせよう(亡き者にしよう)”

二度目の暗殺計画(11:21)

*“自分たちには祭司、神の律法、預言者と神の預言がついている”





Ⅲ. エレミヤの嘆願

エレミヤ書18章19～23節

エルサレム近郊

嘆願

主への訴え エレミヤ18:19~20

「【主】よ、私に耳を傾け、私と争う者の声を聞いてください。

善に悪をもって報いてよいのでしょうか。まことに彼らは、私のいのちを取ろうとして穴を掘りました。私が御前に立って、彼らへのあなたの憤りをやめていただくために、彼らについて**良いこと***を語ったことを、思い起こしてください。」

***悔い改めを促す、神の厳しい裁きの警告**

■ 裁判官である主に訴えるエレミヤ



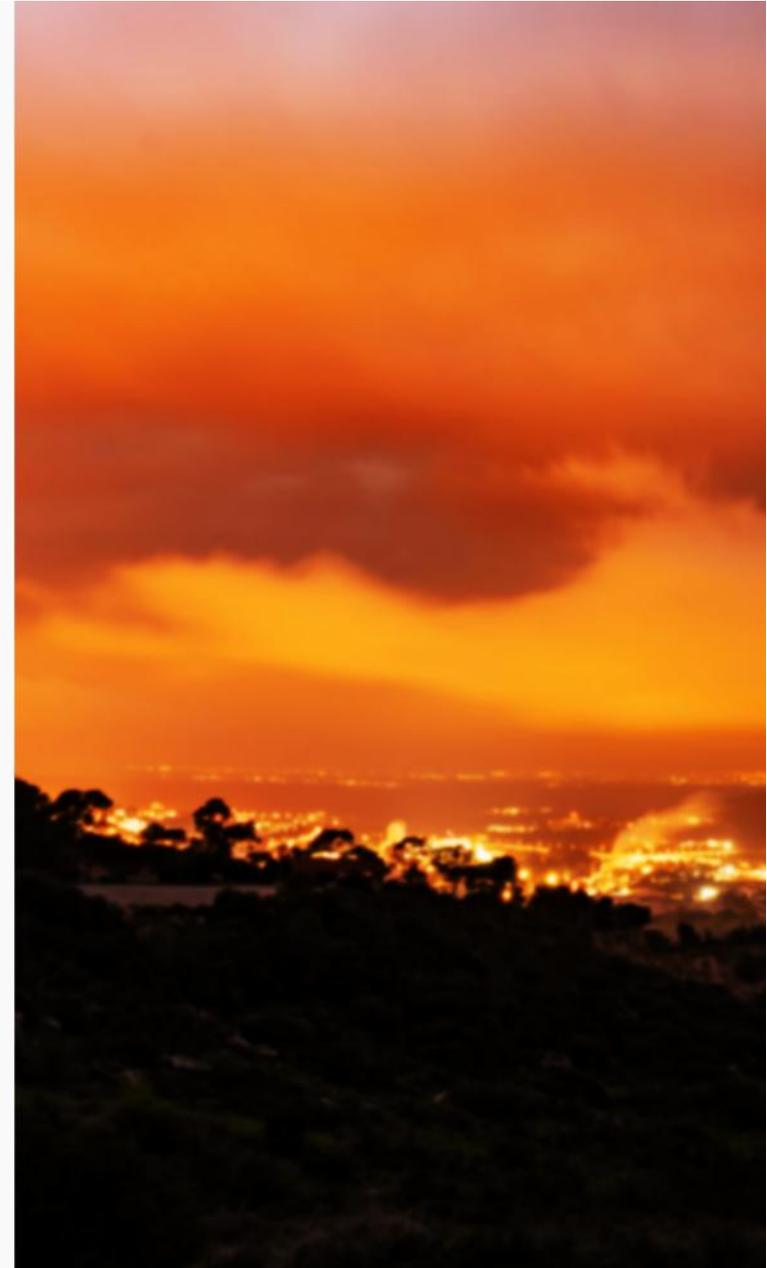
嘆願 主の裁きを求めて エレミヤ18:21

それゆえ、彼らの子らを飢饉に渡し、彼らを剣で殺してください。妻たちは子を失い、また、やもめになり、夫たちは虐殺されて死に、若い男たちは戦いで剣に殺されますように。

■ エレミヤの祈りは、主の御心と一致。

➔ 悔い改めを拒む民には、厳しい裁きが。

『【主】はこう言われる。死に定められた者は死に、剣に定められた者は剣に、飢饉に定められた者は飢饉に、捕囚に定められた者は捕囚に。』エレミヤ15:2



嘆願

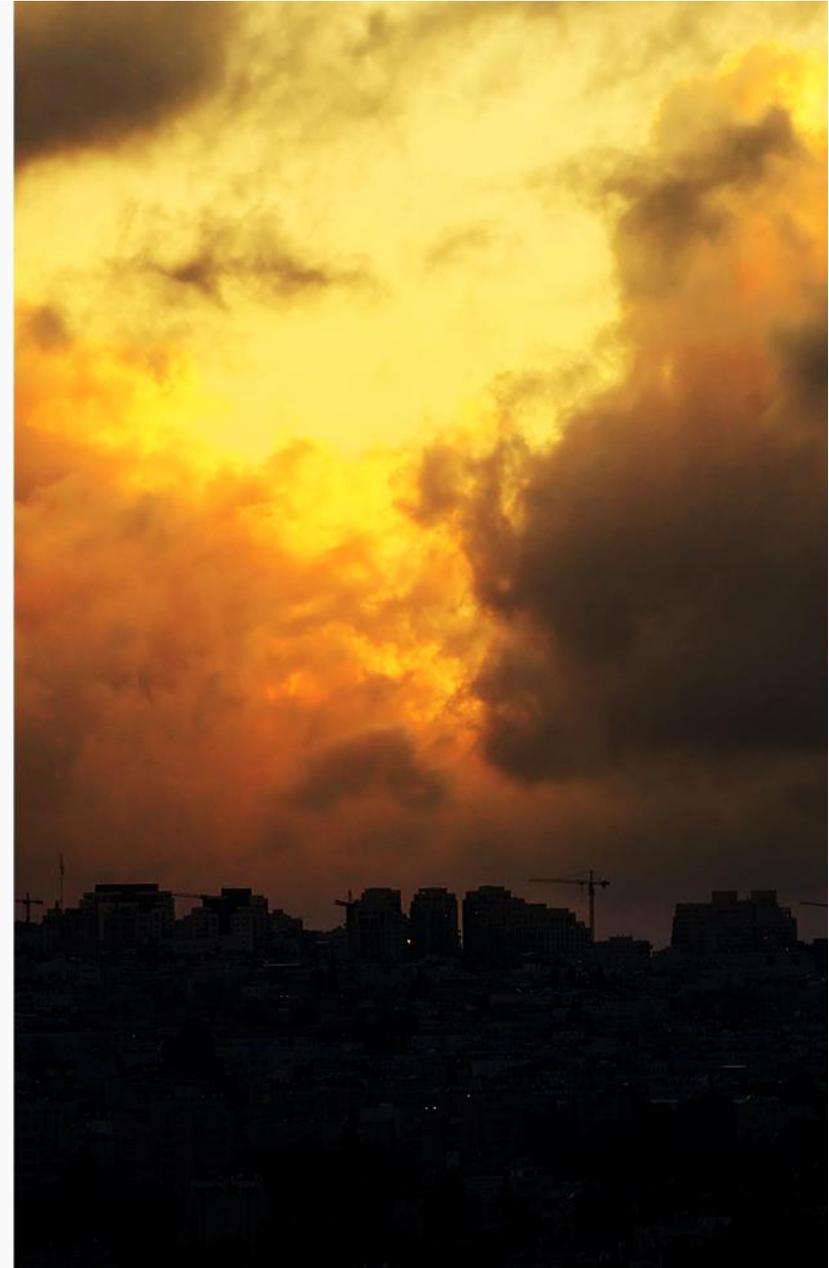
略奪隊 エレミヤ18:22

突然、あなたが略奪隊*に彼らを襲わせる
とき、彼らの家から悲鳴が聞こえます。彼
らは私を捕らえようとして穴を掘り、私の
足もとに罠を設けたからです。

*バビロニアの略奪隊

…この預言をしたエホヤキム王の時代に、
最初の侵略が開始される。

■ エレミヤを殺そうとした者たちは、
バビロニアによって殺される。



嘆願

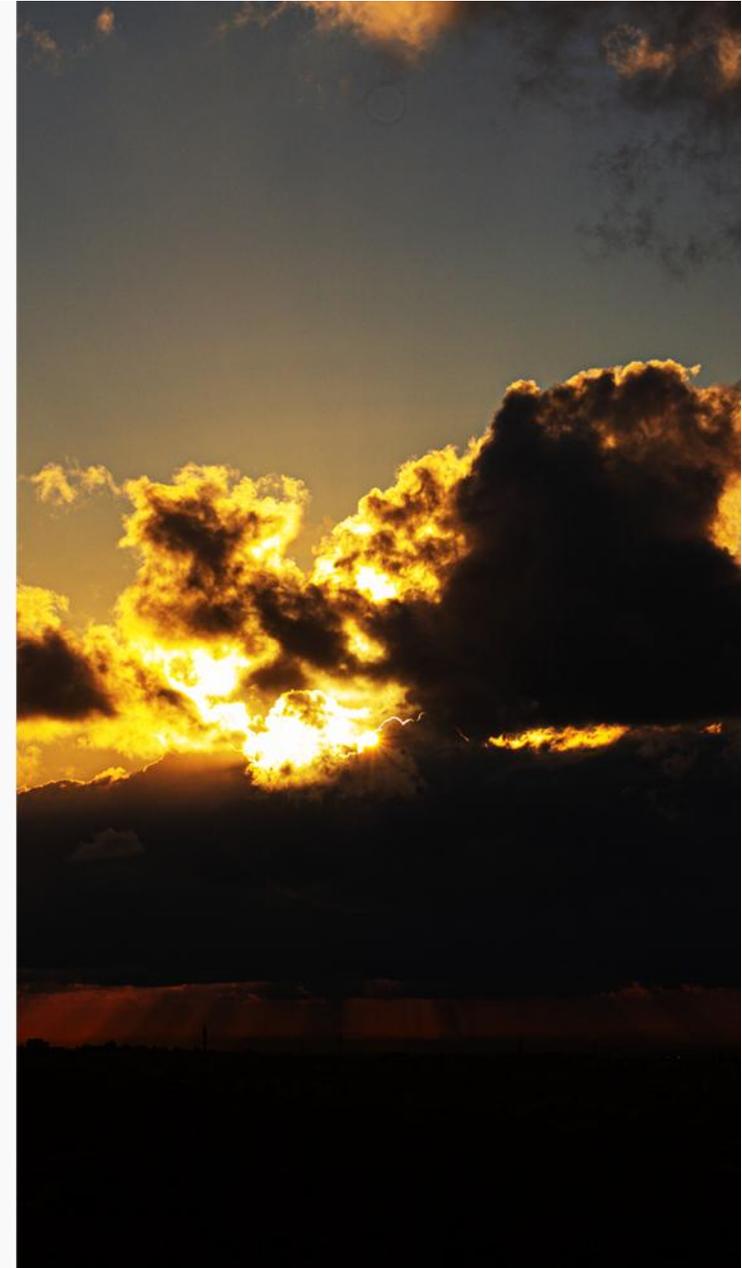
御怒りの時 エレミヤ18:23

【主】 よ、あなたはみなご存じです。私を殺そうとする彼らのはかりごとを。どうか彼らの咎を赦さず、彼らの罪を御前からぬぐい去らないでください。彼らを御前で打ち倒し、**御怒りの時***に、彼らに報いてください。」

*究極的には、世の終わりの主の裁きの日

■偶像礼拝者に今も蓄積され続ける御怒り

「あなたは、頑なで悔い改める心がないために、神の正しいさばきが現れる**御怒りの日**の怒りを、自分のために蓄えています。ロマ 2:5」



III. まとめと適用

御怒りからの救い主
主イエスにすべてを託そう

陶器師なる創造主の権威

■ **陶器師**なる創造主には、被造物を自由に取り扱う権威がある。

➔ 被造物にすぎない人間に言い返す余地は一切ない。

■ ローマ人への手紙9:20～21

「人よ。神に言い返すあなたは、いったい何者ですか。造られた者が造った者に「どうして私をこのように造ったのか」と言えるでしょうか。

陶器師は同じ土のかたまりから、あるものは尊いことに用いる器に、別のものは普通の器に作る権利を持っていないのでしょうか」

陶器師なるメシアの権威

■ 究極の裁きをもたらされるのが、再臨の主イエス・キリスト

■ メシア預言 詩編2:7,9

「主は私に言われた。『あなたはわたしの子。わたしが今日あなたを生んだ。…あなたは鉄の杖で彼らを牧し **陶器師**が器を砕くように粉々にする。』」

■ 十字架で死なれ、復活されたイエスこそ、メシア 使徒13:33

「神はイエスをよみがえらせ、彼らの子孫である私たちにその約束を成就してくださいました。詩篇の第二篇に、“あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ”と書かれているとおりです」

エレミヤと呼ばれていた主イエス

■ 主イエスの質問への弟子たちの答え マタイ16:14

彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人たちも、エリヤだと言う人たちもいます。またほかの人たちは**エレミヤ**だとか、預言者の一人だとか言っています。」

■ なぜ、主イエスは、エレミヤと言われたのか？

➔ エレミヤのような厳しい裁きを何度も告げていたから

■ 主イエスは、過去の預言者を束にしても言い尽くせないほどの、厳粛な裁きを告げられた。

主イエスが告げられた 永遠の滅びに至る裁き

■主イエスのタラントのたとえの結末 マタイ25:28~30

「だから、そのタラントを彼から取り上げて、十タラント持っている者に与えよ。だれでも持っている者は与えられてもっと豊かになり、持っていない者は持っている物までも取り上げられるのだ。

この役に立たないしもべは**外の暗闇***に追い出せ。そこで泣いて歯ぎしりするのだ。』

*外の暗闇…ゲヘナ。永遠の火の池。裁きの対象は、不信仰者。

永遠の滅びをもたらす裁き主が、再臨の主イエス

主イエスへの態度が、永遠の運命を決める

■主イエスが告げた艱難期のイスラエルへの裁き ルカ21:23

「それらの日、身重の女たちと乳飲み子を持つ女たちは哀れです。この地に大きな苦難があり、この民に**御怒り**が臨むからです。」

➔反キリストによる迫害を主がゆるされる

■永遠の運命を決めるのは、主イエスへの信仰 ヨハ 3:36

「御子を信じる者は**永遠のいのち**を持っているが、御子に聞き従わない者はいのちを見ることがなく、**神の怒り**がその上にとどまる」

➔永遠にとどまる**神の怒り** = 永遠の滅び

すべての人は、生まれながら御怒りを受ける者

■エペソ2:1～3

「さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。

私たちもみな、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら**御怒り**を受けるべき子らでした。」

主イエスこそ、永遠の滅びをもたらす裁き主

■ 艱難期最後の羊とやぎの裁き マタイ25:31~33

人の子は、その栄光を帯びてすべての御使いたちを伴って来るとき、その栄光の座に着きます。

そして、すべての国の人々が御前に集められます。人の子は、羊飼いが羊をやぎからより分けるように彼らをより分け、**羊**を自分の右に、**やぎ**を左に置きます。

■ 大艱難時代、イスラエルと異邦人の2/3は命を落とす。

生き残った異邦人は、イスラエルに味方したかどうかで

主イエスによって、**永遠の命**か、**永遠の滅び**かを言い渡される。

子羊なる再臨のメシアの裁き

また私は見た。**子羊**が第六の封印を解いたとき、大きな地震が起こった。太陽は毛織り見の粗布のように黒くなり、月の全面が血のようになった。

そして天の星が地上に落ちた。それは、いちじくが大風に揺さぶられて、青い実を落とすようであった。天は、巻物が巻かれるように消えてなくなり、すべての山と島は、かつてあった場所から移された。

地の王たち、高官たち、千人隊長たち、金持ちたち、力ある者たち、すべての奴隷と自由人が、洞穴と山の岩間に身を隠した。そして、山々や岩に向かって言った。「私たちの上に崩れ落ちて、御座に着いておられる方の御顔と、子羊の御怒りから私たちを隠してくれ。

神と子羊の御怒りの、大いなる日が来たからだ。だれがそれに耐えられよう。黙示録6:12~17」

裁き主として来られる再臨の主イエス・キリスト

■大艱難時代の最後、王の王なる再臨の主イエス 黙19:13~16

その方は血に染まった衣をまとい、その名は「神のことば」と呼ばれていた。天の軍勢は白くきよい亜麻布を着て、白い馬に乗って彼に従っていた。

この方の口からは、諸国の民を打つために鋭い剣が出ていた。鉄の杖で彼らを牧するのは、この方である。また、全能者なる神の激しい憤りのぶどうの踏み場を踏まれるのは、この方である。

その衣と、もものところには、「王の王、主の主」という名が記されていた。

メシアの軍勢による 凄惨な裁き

また私は、一人の御使いが太陽の中に立っているのを見た。彼は大声で叫び、中天を飛んでいるすべての鳥たちに言った。

「さあ、神の大宴会に集まれ。王たちの肉、千人隊長の肉、力ある者たちの肉、馬とそれに乗っている者たちの肉、すべての自由人と奴隷たち、また小さい者や大きい者たちの肉を食べよ。」

また私は、獣と地の王たちとその軍勢が集まって、**馬に乗る方**とその軍勢に戦いを挑むのを見た。

しかし、獣は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた者たちと、獣の像を拝む者たちを惑わした偽預言者も、獣とともに捕らえられた。この両者は生きたまま、**硫黄の燃える火の池**に投げ込まれた。黙示録19:17～20

裁き主なる主イエスは、すぐに来られる

■結びの警告 黙示録22:18~20

私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。

また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。

これらのことを証しする方が言われる。「しかり、わたしはすぐに来る。」アーメン。**主イエス**よ、来てください。」

裁きの時は来る!! たった一つの救いの道

主のことばがあなたがたのところから出て、マケドニアとアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰が、あらゆる場所に伝わっています。そのため、私たちは何も言う必要がありません。

人々自身が私たちのことを知らせています。私たちがどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。**この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してください。イェスです。** | テサロニケ1:8~10

★ 御怒りからの救い主 主イエスにすべてを託そう ★

■ エレミヤが告げた主の裁き。完全に成就するのは世の終わり。裁きをもたらすのは、栄光の主、王の王なるイエス・キリスト。

■ 今なお、すべての人は生まれながら神の御怒りを受けている。私たちが救われたのは、ただ、主への信仰と神の恵みによる。

■ 生まれながら御怒りを受けるべき私たちのために、主イエス・キリストは、十字架で死なれ、よみがえられた。

主を信頼し、生きた主の御言葉に、堅く立ち続けていこう

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ みこ しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

う みいか う もの しゅ すく だ
生まれながら御怒りを受ける者を 主が救い出してくださいました。

みこ しん わたし みこ えいえん あた
御子を信じた私たちに、御子の永遠のいのちが与えられています。

わたし みこ てん こ せつ ま のぞ
私たちは、御子が天から来られるのを切に待ち望んでいます。

しゅ き
マラナタ。主よ。来てください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」